

### 【学校教育専攻】

本専攻は、学校および地域における複合的な教育課題の解決に向かって、多角的に思考し、協働的に実践する専門職や、21世紀社会を生き抜く力に必要な学力を培うための授業作り・教育内容開発・カリキュラム研究およびそれらに関連する支援を担い、優れた教育実践力を発揮できる教員あるいは教育専門家の養成を目的とする。

### ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

1. 本専攻の目的に沿って設定された授業科目を履修し、基準となる単位数を修得することおよび修士論文を作成・提出することが、修士の学位授与における必要要件である。
2. 本専攻の目的に沿い、以下の知識・力量を身につけることを求める。
  - ① 子どもの発達特性や多様なニーズに応じた学習支援を行うための知識・力量
  - ② 教科に関する学問上並びに教育上の専門的知識と高度な教育実践力
  - ③ 専門的知識と実践力を基盤とする協働的・探究的な研究能力
  - ④ 学校とそれを支える地域コミュニティと連携し、今日的な諸課題に対応できる力量

### カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

1. 教職に関する科目の履修を通して、多様な視点から子どもの発達や学習の状況を把握し、支援できる力量を身につけさせ、複雑化する学校教育の諸課題に対応できる識見と実践力を身につけさせる。
  2. 教科に関する科目の履修を通して高い専門性を身につけさせるとともに、教科教育に関する高度な授業実践力を身につけさせる。
  3. 「協働実践研究プロジェクト」の履修を通して、学校や地域社会と連携しながら、学校と地域の諸課題を実践的に研究し、教員としての協働性や教育開発力を向上させる。
  4. 課題研究の履修並びに修士論文の作成を通して、柔軟な思考力、探究的な研究態度、課題解決のための科学的手法、理論的知見を身につけさせる。
- 以上の1から4を実現するための教育課程を編成し実施する。